

第2学年国語科学習指導案

場 所 2年1組・2組・3組 教室

授業者 我妻祐子・加賀山太一・富田秀典

研究主題 主体的にかかわり合い学び合う児童の育成 ～国語科における説明的な文章の指導を通して～

- 1 単元名 「読みながら作って『作せん』を考えて、『手作りおもちゃこうりゃくほう』を書こう」
教材名 「紙コップ花火の作り方」、「おもちゃの作り方をせつめいしよう」 (光村図書)

2 単元の目標

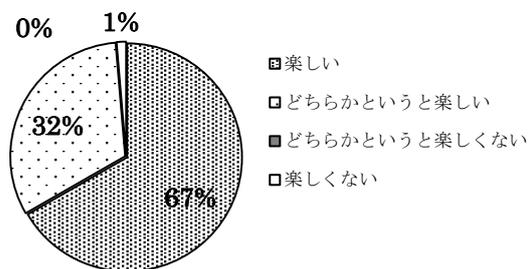
- 言葉には、事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。
(知識及び技能)
- 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。
(学びに向かう力、人間性等)

3 単元の評価規準

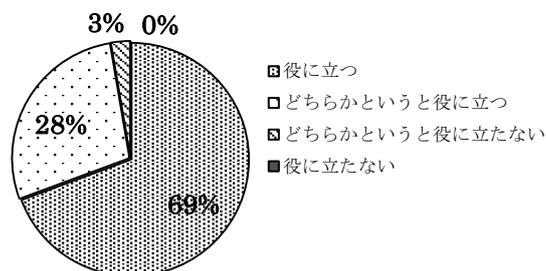
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 (1)ア)	○文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(Cウ) ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(Cオ) ○経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(Bア)	○進んで、文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、学習の見通しをもって「手作りおもちゃこうりゃくほう」を書こうとしている。

4 説明文意識調査

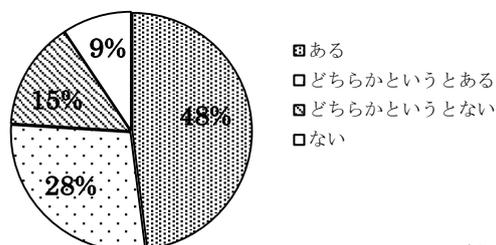
①説明文は楽しいですか。



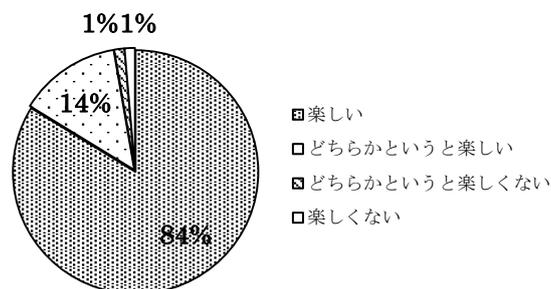
②説明文は役に立ちますか。



③説明文で学んだことを、他に生かしたことがありますか。



④調べるのは楽しいですか。



5 児童の実態

第2学年ではこれまでの説明的文章の学習で、クイズ大会や発表会などの単元のゴールを設定して取り組んできた。導入時に具体物等を用いてゴールを紹介することで、児童は活動の見通しをもちやすくなり、「やってみたい。」「〇〇（ゴールの活動）のために、がんばって読もう。」と、意欲的に取り組むことができた。意識調査①②の結果からも、楽しんで学習に取り組んでいること、説明的文章を読むことがゴールの活動を行う上で役に立っていると実感しながら取り組んでいることが分かる。

そこで本単元でも、「手作りおもちゃこうりやくほう」を作って学年で紹介し合うという単元のゴールを設定して児童の意欲を喚起させ、「友達に紹介する『こうりやくほう』を書くために、『紙コップ花火の作り方』を読んでみよう。」と相手と目的を意識しながら学習に取り組ませたい。

6 単元について

本単元は、学習指導要領「C読むこと」の(ウ)「文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。」、(オ)「文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。」を中心に進めていく。本文を読みながら紙コップ花火を作り、そのうえで自分にとって重要だと考えられる語や文「作るときに役に立ったところ」を見つけてサイドラインを引いたり、付け足すと分かりやすくなる語や文を考えて書き加えたりする。サイドラインや書き加えたことをもとに、おもちゃの説明を書くうえで「作せん」を考え、「手作りおもちゃこうりやくほう」を書くという言語活動につなげていく。

7 研究主題に迫る手だて <学習環境デザインの工夫>

(1) 読む目的を明確にする 【「こと」デザイン】

手作りおもちゃこうりやくほう

- 生活科の学習で取り組む手作りおもちゃの作り方や遊び方を説明する「手作りおもちゃこうりやくほう」を書き、学年で紹介し合うことを単元のゴールとして設定する。そのために必要な「作るときに役に立ったところ」を見付けるという目的を明確にすることで、主体的に学習を進めることができるようにする。
- 第二次で作るおもちゃを6種類用意し、各クラス2種類ずつ作って紹介し合う。ほかのクラスの友達に分かりやすく伝えるという相手意識をもたせる。

(2) 自分の考えを表現する 【「もの」デザイン】

レシピ（本文シート）

- 本文シートを読みながら紙コップ花火を作り、「作るときに役に立ったところ」にサイドラインを引いたり、付け足しの語や文を考えて書き加えたりする。サイドラインや書き加えたことを交流し、「数字でせつめいする。」「しゃしんに書きこむ。」等の「作せん」を考えていく。

(3) 読みを深める 【「ひと」デザイン】

小グループでの作成・交流 同質グループ・異質グループでの交流

- 4, 5人のグループで「レシピ」を読みながら紙コップ花火を作成し、「作るときに役に立ったところ」にサイドラインを引いたり、付け足しの語や文を書き加えたりする。互いの「レシピ」を交流することで、「作せん」を考えられるようにする。
- 第二次では、「同質グループ（同じおもちゃを作った友だち）」「異質グループ（ちがうおもちゃを作った友だち）」で交流し、読み取ったことを生かして「手作りおもちゃこうりやくほう」を書けるようにする。

8 単元計画（全14時間）

次	時	○主な学習計画	◇支援 ◆評価 ()評価方法
一 次	1	○「手作りおもちゃこうりやくほう」を作ることを知り、学習の見通しをもつ。 ・ゴールを知り、学習計画を立てる。 ・本文P.42を読み、紙コップ花火がどのようなおもちゃなのかを知る。	◇「どのくらい簡単にできるのか。」等、本文を読んだ疑問を引き出し、付け足して分かりやすくしようという意欲につなげる。 ◆学習の見通しをもち、紙コップ花火の特徴について読み取ろうとしている。 (主・発言、ワークシート)
	2	○「ざいりょうとどうぐ」「作り方」を読み、紙コップ花火ができるまでにすることを確かめる。 ・材料と使う道具を確かめる。 ・作り方を写真から確かめる。	◇順序を表す言葉と写真を基に、大まかな作り方を確かめさせる。 ◆順序を表す言葉を見付けて読み、大まかな作り方を捉えている。 (思・発言、ワークシート)
	3	○「まず、」の段落について、「作せん」を考える。 ・本文を読みながら、「花火のぶぶんになる紙」を作る。 ・「作るときに役に立ったところ」にサイドラインを引いたり、付け足しの語や文を書いたりする。 ・グループや全体で共有し、「作せん」を考える。	◇本文に書かれていることを友達と確かめながら作らせる。 ◇本文のどこを読むと、「きれいな花火」が作れたか考えさせ、「作せん」につなげる。 ◆本文を読みながら「花火のぶぶんになる紙」を作り、作り方が順序よく書かれていることに気付いている。 (知・発言、ワークシート)
	4	○「つぎに、」の段落について、「作せん」を考える。 ・本文を読みながら、「花火のぶぶん」を作る。 ・「作るときに役に立ったところ」にサイドラインを引いたり、付け足しの語や文を書いたりする。 ・グループや全体で共有し、「作せん」を考える。	◇本文に書かれていることを友達と確かめながら作らせる。 ◇本文のどこを読むと、わりばしに上手に付けられたのか考えさせ、「作せん」につなげる。 ◆大事な語や文に気を付けて読みながら「花火のぶぶん」を作り、付け足したいことを本文シートに書き加えている。 (思・発言、ワークシート)
	5	○「それから」、「さいごに」の段落について、「作せん」を考える。 ・本文を読みながら、「花火のぶぶんと紙コップ」を組み合わせ、完成させる。 ・「作るときに役に立ったところ」にサイドラインを引いたり、付け足しの語や文を書いたりする。 ・グループや全体で共有し、「作せん」を考える。	◇本文に書かれていることを友達と確かめながら作らせる。 ◇失敗したときに直すためには本文にどんな語や文を付け足すと良かったか考えさせ、「作せん」につなげる。 ◆大事な語や文に気を付けて読みながら紙コップ花火を完成させ、付け足したいことを本文シートに書き加えている。 (思・発言、ワークシート)

2組
本時

<p style="text-align: center;">1組 本時</p>	<p>6</p>	<p>○「楽しみ方」の段落について、「作せん」を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文を読みながら、「紙コップ花火」で遊んだり、さらに工夫を加えたりする。 ・「役に立ったところ」にサイドラインを引いたり、付け足しの語や文を書いたりする。 ・グループや全体で共有し、「作せん」を考える。 	<p>◇遊ぶときに気を付けたことや工夫したことを想起させ、「作せん」につなげる。</p> <p>◆大事な語や文に気を付けて読みながら遊んだり、さらに工夫を加えたりし、付け足したいことを本文シートに書き加えている。 (思・発言、ワークシート)</p>
<p style="text-align: center;">3組 本時</p>	<p>二次</p> <p>7</p> <p>8</p> <p>9</p> <p>10</p> <p>11</p> <p>12</p> <p>13</p> <p>14</p>	<p>○「手作りおもちゃこうりやくほう」の学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えた「作せん」を振り返る。 ・二つのうち、自分が作りたいおもちゃを選ぶ。 <p>○選んだおもちゃを作り、「手作りおもちゃこうりやくほう」を書くために必要な写真や絵を用意したり、組み立てを考えたりする。</p> <p>○「手作りおもちゃこうりやくほう」を書き、同質グループで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「作せん」やメモを基に書く。 ・同質グループで交流する。 ・交流したことを基に、続きを書く。 <p>○「手作りおもちゃこうりやくほう」を異質グループ(ペア)で交流し、より分かりやすい説明を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアの友達の「こうりやくほう」を読みながらおもちゃを作る。 ・完成したおもちゃで遊び、感想をもつ。 ・より分かりやすくするための説明の仕方を相談する。 <p>○「手作りおもちゃこうりやくほう」を完成させ、学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談したことを基に、清書をする。 ・同質グループで読み合い、振り返る。 	<p>◇「○○こうりやくほう」の見本を提示し、意欲をもたせる。</p> <p>◆学習の見通しをもち、「手作りおもちゃこうりやくほう」を作ろうとしている。 (思・発言、ワークシート)</p> <p>◇生活科と関連させて作る。</p> <p>◇「作せん」を意識しながら作らせ、必要な事柄をメモに書かせる。</p> <p>◆おもちゃを作りながら「こうりやくほう」に書きたいことを見付け、必要な写真を撮ったりメモに書いたりして、伝えたいことを明確にしている。 (思・発言、ワークシート)</p> <p>◇「作せん」を使って書けているか、同質グループで確かめさせる。</p> <p>◆「作せん」やメモに書いたことを基に、伝えたいことを明確にして「こうりやくほう」を書いている。 (思・発言、作品)</p> <p>◇ペアで「読みながら作って、分からないところを質問する人」「作ってもらい、質問に答える人」の役割を決めて取り組ませる。</p> <p>◇「作ってもらい、質問に答える人」は、答えたことを「こうりやくほう」にさらに書き加えるようにする。</p> <p>◆ペアで質問し合い、伝えたいことを明確にして「こうりやくほう」を書いている。 (思・発言、作品)</p> <p>◇「どんな『作せん』を使って書けたか。」という視点を基に振り返りをさせる。</p> <p>◆友達の作品を読み、視点を基に伝えている。 (主・発言、ワークシート)</p>

9 本時の学習

1組（ 6/14 第一次の6時間目 ）

(1) 本時の目標

○大事な語や文に気を付けて読みながら遊んだり、さらに工夫を加えたりし、付け足したいことを本文シート（レシピ）に書き加えることができる。（思考力、判断力、表現力等）

(2) 展開

主な学習活動	◇支援 ◆評価 ()評価方法
<p>1 前時の学習を振り返り、本時の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">あそんだり、くふうしたりしたことをレシピに書きくわえよう。</div>	<p>◇学習計画表を基に単元のゴールと本時に学習することを確かめ、学習意欲を高める。</p>
<p>2 本文を読み、遊んだり工夫したりしたことを本文シートに書き加える。</p> <p>(1) 本文全体を音読する。</p> <p>(2) 遊んだり、さらに工夫を加えたりする。</p> <p>(3) 「役に立ったところ」にサイドラインを引いたり、付け足しの語や文を書き加えたりする。</p> <p>3 交流し、「作せん」にまとめる。</p> <p>(1) グループで交流し、サイドラインと付け足したことを確かめる。</p> <p>(2) 全体で交流し、「作せん」にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真に矢印が描かれているのが、遊ぶときに役に立ったよ。「しゃしんに書きこむ作せん」になるね。 ・紙コップにどんな模様を付けたかを「たとえば」を使って書いたから、「たとえば作せん」がいいと思うよ。 	<p>◇前時までに学習した「作せん」を想起させるとともに、本時に行うことについて内容の大体を捉えさせる。</p> <p>◇さらに工夫して作りたい児童のために、材料を余分に用意しておく。</p> <p>◇本文シートにどんなことを書き加えればいいのかを考えながら取り組ませる。</p> <p>◇遊ぶときに気を付けたことや工夫したことを想起させる。</p> <p>◆大事な語や文に気を付けて読みながら遊んだり、さらに工夫を加えたりし、付け足したいことを本文シートに書き加えている。(思・発言、ワークシート)</p> <p>◇交流して分かったことも本文シートに書き加えさせる。</p> <p>◇みんなでまとめた「作せん」を本文シートに書かせる。</p>
<p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>◇「わかった!」、「よくかんがえた◎」、「がんばった◎」からマークを選び、そのことについての振り返りを書かせる。</p>
<p>5 次時の見通しをもつ。</p>	<p>◇学習計画表を基に、次からは自分が選んだおもちゃについて「手作りおもちゃこうりゃくほう」を書く学習に入っていくことを確かめさせる。</p>

2組（ 4 / 14 第一次の4時間目 ）

(1) 本時の目標

○大事な語や文に気を付けて読みながら「花火のぶぶん」を作り、付け足したいことを本文シート（レシピ）に書き加えることができる。（思考力、判断力、表現力等）

(2) 展開

主な学習活動	◇支援 ◆評価 ()評価方法
<p>1 前時の学習を振り返り、本時の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「花火のぶぶん」をつくり、つけ足したいことをレシピに書きくわえよう。</p> </div>	<p>◇学習計画表を基に単元のゴールと本時に学習することを確かめ、学習意欲を高める。</p>
<p>2 本文を読みながら、「花火のぶぶん」を作る。</p> <p>(1) 本文を音読する。</p> <p>(2) 花火の部分を作る。</p> <p>(3) 「役に立ったところ」にサイドラインを引いたり、付け足しの語や文を書き加えたりする。</p> <p>3 交流し、「作せん」にまとめる。</p> <p>(1) グループで交流し、サイドラインと付け足したことを確かめる。</p> <p>(2) 全体で交流し、「作せん」にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1センチメートル」と書いてあったから、ちょうどいい大きさに作ることができたよ。「数字でつたえる作せん」だね。 ・谷おり山おりをするとき、「気をつけましょう」と書いてあったから、失敗しないでできたよ。「しっばいよぼう作せん」がつかえると思うよ。 	<p>◇前時に学習した「作せん」を想起させるとともに、本時に行うことについて内容の大体を捉えさせる。</p> <p>◇失敗してもやり直せるように、材料を余分に用意しておく。</p> <p>◇本文シートにどんなことを書き加えればいいのかを考えながら取り組ませる。</p> <p>◆大事な語や文に気を付けて読みながら「花火のぶぶん」を作り、付け足したいことを本文シートに書き加えている。（思・発言、ワークシート）</p> <p>◇交流して分かったことも本文シートに書き加えさせる。</p> <p>◇みんなでまとめた「作せん」を本文シートに書かせる。</p>
<p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>◇「わかった!」、「よくかんがえた◎」、「がんばった◎」からマークを選び、そのことについての振り返りを書かせる。</p>
<p>5 次時の見通しをもつ。</p>	<p>◇学習計画表を基に、次時は「花火のぶぶんと紙コップ」を組み合わせて作り、レシピに書き加えることを確かめさせる。</p>

3組（ 13/14 第二次の7時間目 ）

(1) 本時の目標

- ペアで質問し合い、伝えたいことを明確にして「こうりやくほう」を書くことができる。
(思考力、判断力、表現力等)

(2) 展開

主な学習活動	◇支援 ◆評価 () 評価方法
<p>1 前時の学習を振り返り、本時の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「手作りおもちゃこうりやくほう」をペアで交流し、付け足しをしよう。</p> </div>	<p>◇学習計画表を基に単元のゴールと本時に学習することを確かめ、学習意欲を高める。</p>
<p>2 「手作りおもちゃこうりやくほう」を読み「手作りおもちゃ」を作る。</p> <p>(1) ペアの友達の「手作りおもちゃこうりやくほう」を読みながらおもちゃを作る。</p> <p>(2) 完成したおもちゃで遊び、感想をもつ。</p> <p>3 「手作りおもちゃこうりやくほう」について、より分かりやすくするための説明の仕方をペアで相談する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「数字でつたえる作せん」を使うといいよ。 ・「ペンを使って書きます。」と書いた方が、もっといいと思うよ。 	<p>◇前時までの学習を振り返り、どんな「作せん」を使うとわかりやすい説明になったかを想起させる。</p> <p>◇「まず」や「つぎに」等の順序を表す言葉に注目して作れるように、言葉掛けをする。</p> <p>◇ペアで「読みながら作って、分からないところを質問する人」、「作ってもらい、質問に答える人」の役割を決めて取り組ませる。</p> <p>◇「作ってもらい、質問に答える人」は、質問に答えたり、詳しく説明したりし、おもちゃが完成した後、そのことを「こうりやくほう」にさらに書き加えるようにする。</p> <p>◇遊ぶときにどんなことに気を付けるか、「こうりやくほう」に書き加えるといいことを考えさせる。</p> <p>◇作っているときに質問に答えたり説明したりした内容を想起し、「こうりやくほう」に書き加えさせる。</p> <p>◇前時までにまとめた「作せん」を使って書いているかを確かめさせる。</p> <p>◆ペアで質問し合い、伝えたいことを明確にして「こうりやくほう」を書いている。(思・発言、作品)</p>
<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>5 次時の見通しをもつ。</p>	<p>◇「わかった!」、「よくかんがえた◎」、「がんばった◎」からマークを選び、そのことについての振り返りを書かせる。</p> <p>◇学習計画表を基に、次時は「手作りおもちゃこうりやくほう」を完成させることを確かめさせる。</p>

【第二次で作成する「手作りおもちゃ」】

1組 ころりん



1組 紙コップコロコロレース



2組 ぱっちゃんガエル



2組 紙コップおばけ



3組 がたがたアニマル



3組 ふくろロケット

